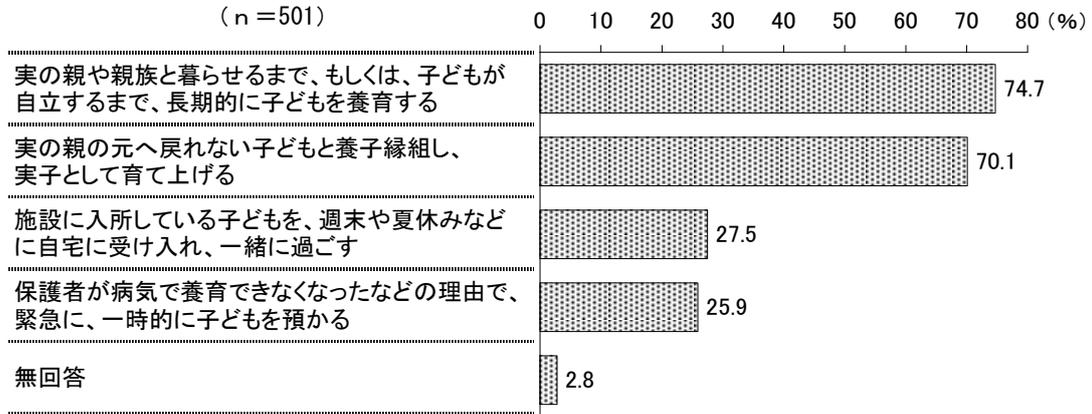


(1-2) 里親の活動で知っているもの

《問18で「知っている」とお答えの方へ》

問18-2 里親の活動のうち、あなたが知っているものに○を付けてください。

(○はいくつでも)



里親制度を「知っている」と答えた方に、知っている里親の活動をたずねたところ、「実の親や親族と暮らせるまで、もしくは、子どもが自立するまで、長期的に子どもを養育する」(74.7%)が7割半ばで最も高く、次いで、「実の親の元へ戻れない子どもと養子縁組し、実子として育て上げる」(70.1%)、「施設に入所している子どもを、週末や夏休みなどに自宅に受け入れ、一緒に過ごす」(27.5%)、「保護者が病気で養育できなくなったなどの理由で、緊急に、一時的に子どもを預かる」(25.9%)と続いている。

<性別・性／年齢別・区別結果>

性別でみると、「実の親の元へ戻れない子どもと養子縁組し、実子として育て上げる」で9.7ポイント、「保護者が病気で養育できなくなったなどの理由で、緊急に、一時的に子どもを預かる」で8.4ポイント、それぞれ女性が男性より高くなっている。

性／年齢別でみると、「実の親や親族と暮らせるまで、もしくは、子どもが自立するまで、長期的に子どもを養育する」は女性30～39歳で8割を超えて高くなっている。「実の親の元へ戻れない子どもと養子縁組し、実子として育て上げる」は女性30～39歳で9割と高くなっている。

区別でみると、「実の親や親族と暮らせるまで、もしくは、子どもが自立するまで、長期的に子どもを養育する」は中央区で8割近くと高くなっている。「実の親の元へ戻れない子どもと養子縁組し、実子として育て上げる」は中央区で7割半ばと高くなっている。

